

令和元年度

学校だより
令和元年8月27日



さつきが丘 8・9月号 第307号

まなびあい みとめあい とものにのびよう さつきっ子



2019年 夏

学校長 秋山 順子

長梅雨が明けると猛暑、そして台風到来、長かった夏休みも終り教室に元気な声が戻ってきました。登校してきた子どもたちは、楽しそうに夏休みの出来事を話しています。

夏休み前の朝会で「めあてをもって自分から進んでいろいろやってみましょう。」という話をしました。「25M泳げるようになる」「〇〇について調べる」「本をたくさん読む」「早寝早起きをする」などなど……。きっと自分で決めためあてに向けて、自分なりに取り組み、充実した夏休みを過ごした子が多かったのではないのでしょうか。また、地域の納涼祭に参加したり、水泳大会に出場したり、旅行や親戚の家に行ったり、所属するクラブの試合に出たりと普段できない貴重な体験をした子もいたでしょう。

さて、私の今年のめあては校庭から見える「日本一高い富士山の頂上からご来光を眺める」ことでした。7月の終わり、朝早くバスで須走口五合目に向かい、お昼前から登り始めました。途中雨に降られ「ふじさん」の歌詞どおり、雷様を下に聞きながら登りました。八合目の山小屋で仮眠した後、深夜2時に出発しヘッドライトを装着して進みます。しかし、登山道は前も後ろもヘッドライトをつけた登山客が連なり頂上まで大渋滞でした。おかげでゆっくり登ることができ、無事ご来光を見ることができました。山頂からの景色は素晴らしく遥かなる雲海を眺めると、日頃の悩み事がちっぽけに思えてしまうほど雄大なものでした。めあてにチャレンジし成し遂げたことによる達成感を得られたことは、とても嬉しいことでした。また、それによって自信を得られたことも今後の励みになりました。

いつも学校から眺めているだけの富士山が、登ったことにより違った見方や感じ方が生まれてくるのではないかと少し楽しみです。これを機に次のめあてを探していきたいと考えています。

夏休みが終わると「実りの秋」に向けて学校行事や授業、様々な活動が本格的に再始動します。子どもたちが夏休みを通して成長したことを、大きな活力としてアウトプットできるように努めていきたいと思っています。そして、子どもたちもできることだけでなく少し困難な目標を立てて取り組み、達成感を得られるよう教職員一同支援をしていきたいと思っています。